



Electronics for the Future

決算発表 補足資料

2023年3月期 第1四半期決算

2022年7月29日
ローム株式会社
IR室

EMS顧客やモジュール顧客などについて、そのエンドにある顧客の最終製品まで追うことにより、市場/顧客の最適化を行いました。

市場	主な最終製品
自動車	xEV関連ユニット、エンジンコントロールユニット、エアバック、カーナビゲーション、ADAS関連 など
産機	計測器、工作機械、太陽光発電、スマートメーター、医療機器/健康器具、セキュリティ機器、遊技機 など
民生	AV機器、白物家電、ゲーム機、スマートスピーカー、ウェアラブル機器（時計/フィットネス） など
通信	スマートフォン、通信モジュール（IoT）、基地局 など
コンピュータ&ストレージ	PC、タブレットPC、データセンター/サーバー、プリンター、複写機、データストレージ（HDD/SSD/DVD）、POS など

2023年3月期 第1四半期 実績 業績報告 (前年同期比)

(単位：億円)

	'23/3期 第1四半期 実績	'22/3期 第1四半期 実績	増減額	増減率
売上高	1,251	1,112	+139	+12.5%
営業利益	225	152	+73	+47.6%
(対売上比率)	(18.0%)	(13.7%)	-	-
経常利益	352	163	+189	+115.7%
(対売上比率)	(28.2%)	(14.7%)	-	-
純利益	261	116	+145	+124.9%
(対売上比率)	(20.9%)	(10.4%)	-	-
EBITDA	341	245	+96	+39.2%
(対売上比率)	(27.3%)	(22.0%)	-	-

期中平均レート(¥/US\$) (129.04円) (110.00円)

期末レート(¥/US\$) (136.68円) (110.58円)

(単位：億円)

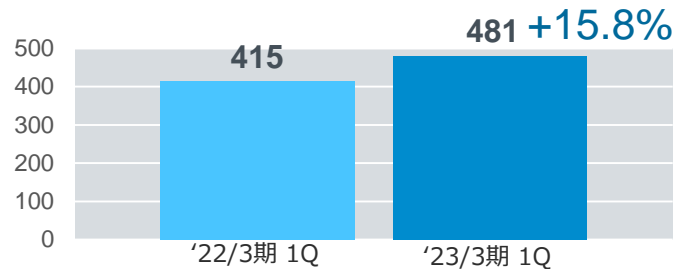
四半期売上高

1,112億円 +12.5%
1,251億円

'22/3期 第1四半期
実績

'23/3期 第1四半期
実績

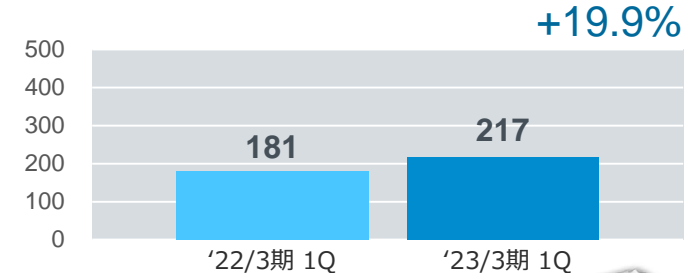
自動車



- インフォテインメント分野 +18
- ボディ分野 +6
- パワートレイン分野 +3
- 安全走行ADAS分野 +4
- xEV分野 +29
- その他 +7



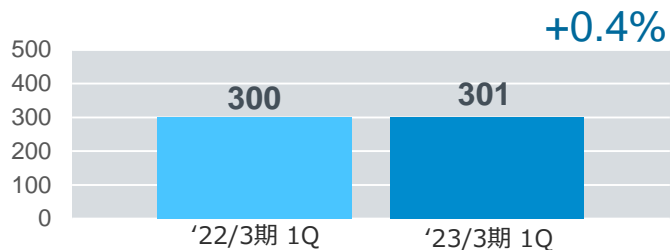
産機



- FA分野 +8
- エネルギー分野 +10
- ホームビルディング分野 +4
- その他 +14



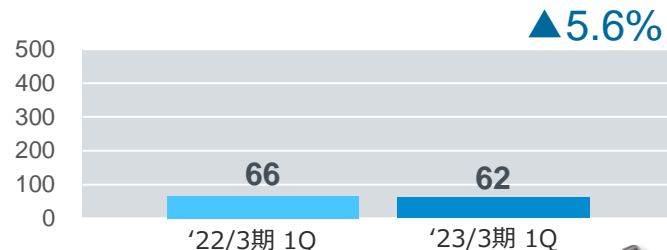
民生



- AV関連 +1
- 家電分野 +6
- その他 ▲6



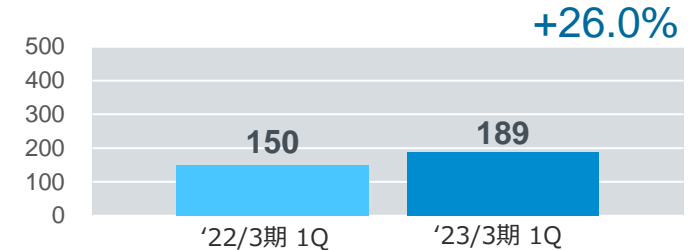
通信



- スマホ&モバイル分野 ▲2
- 基地局&インフラ分野 ▲2
- 有線通信分野 ▲0



コンピュータ & ストレージ



- PC&サーバー分野 +24
- 決裁端末向け +5
- 事務機分野 +10



※業種分類：現在の状態で集計

2023年3月期 第1四半期 国籍別 売上の変動要因 (前年同期比)

四半期売上高

1,112億円

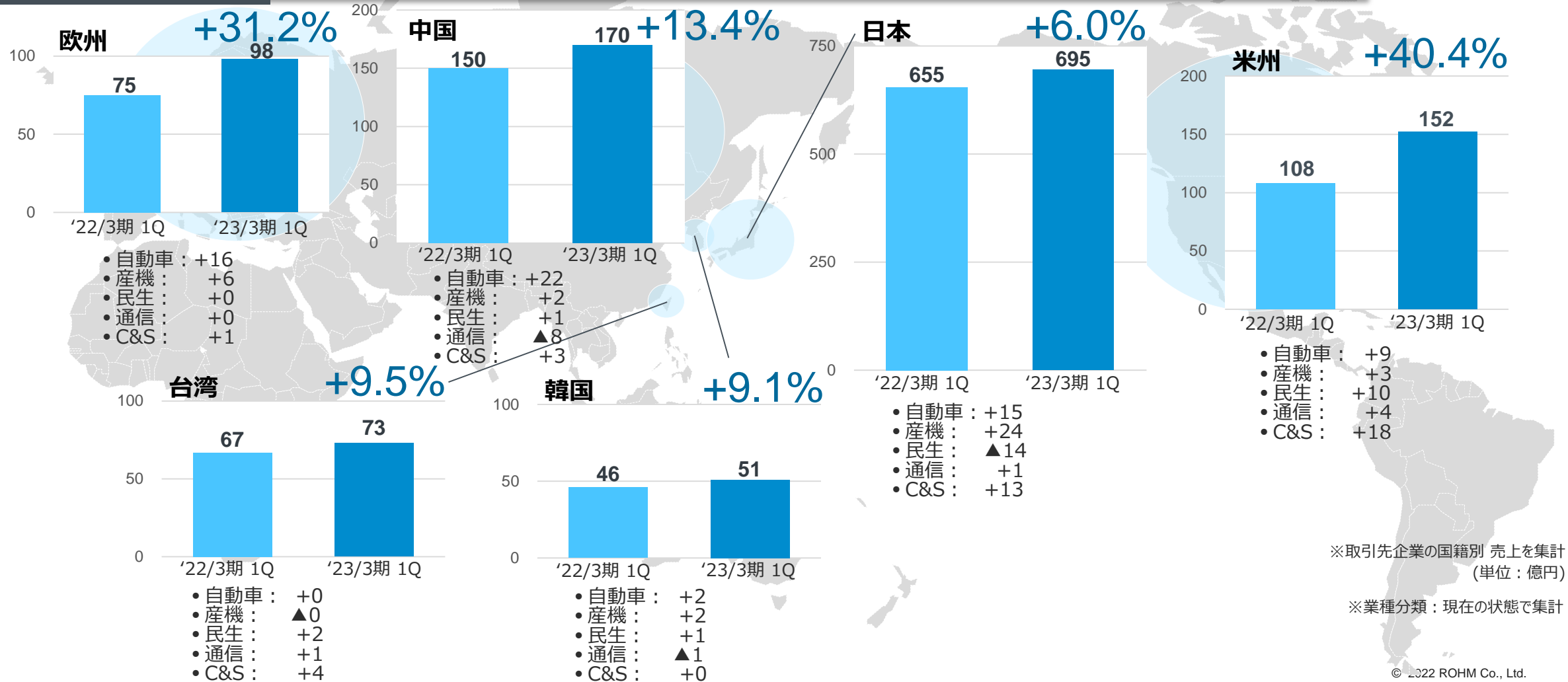
1,251億円

'22/3期第1四半期実績

'23/3期第1四半期実績

+12.5%

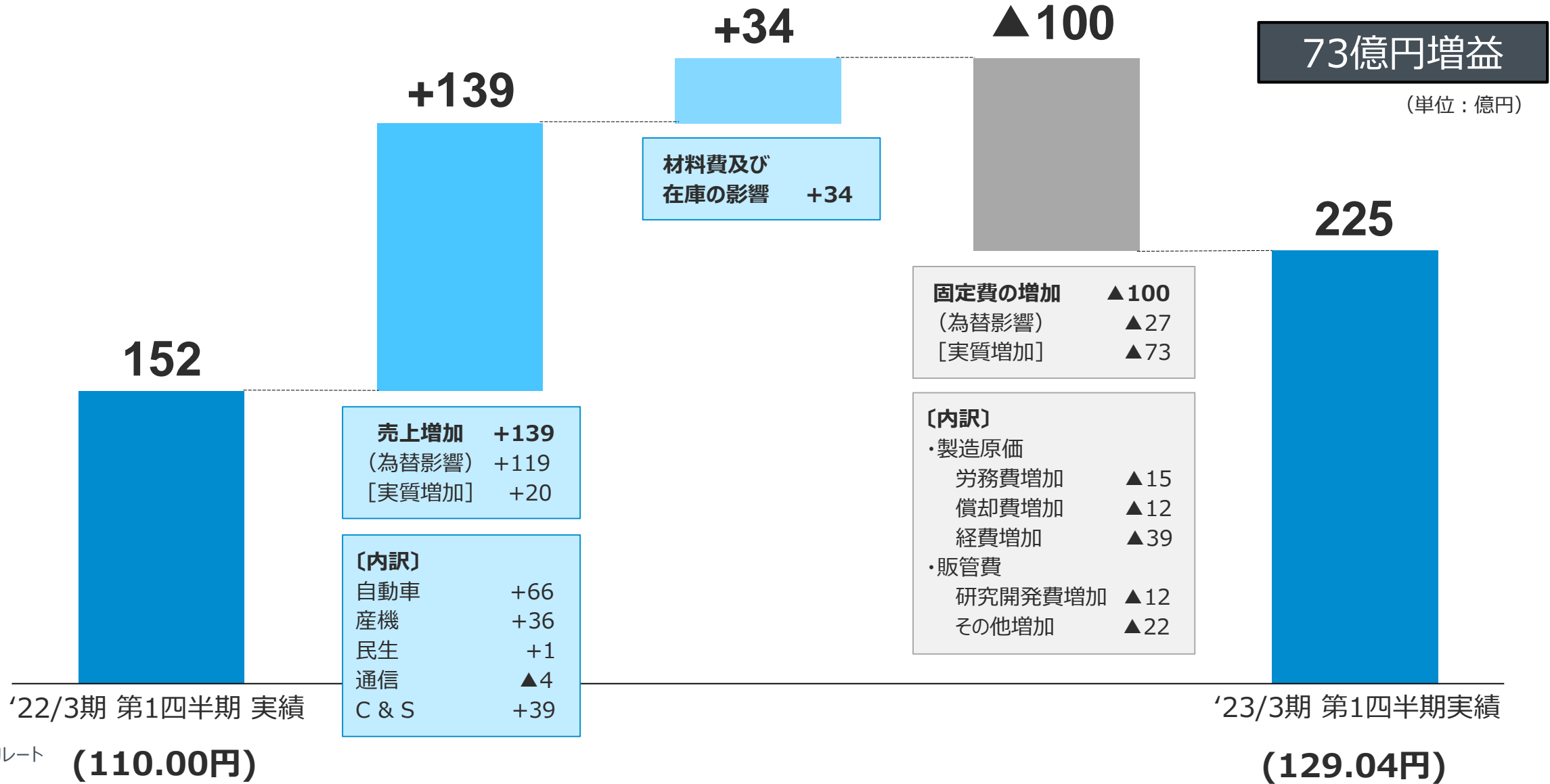
第1四半期前年同期比



※取引先企業の国籍別 売上を集計 (単位: 億円)

※業種分類: 現在の状態で集計

2023年3月期 第1四半期 営業利益 増減分析 (前年同期比)



期中平均レート (¥/US\$)

2023年3月期 第1四半期 セグメント別 (前年同期比)

(単位：億円)

		'23/3期 第1四半期 実績	'22/3期 第1四半期 実績	増減額	増減率
LSI	売上	547	492	+55	+11.2%
	セグメント利益	106	62	+44	+68.7%
	(利益率)	(19.4%)	(12.8%)	-	-
半導体素子	売上	536	470	+66	+14.0%
	セグメント利益	89	64	+25	+37.8%
	(利益率)	(16.7%)	(13.8%)	-	-
モジュール	売上	89	79	+10	+12.8%
	セグメント利益	14	10	+4	+33.8%
	(利益率)	(15.8%)	(13.3%)	-	-
その他	売上	77	70	+7	+10.5%
	セグメント利益	13	13	+0	+3.8%
	(利益率)	(17.7%)	(18.9%)	-	-

2023年3月期 第1四半期 実績 業績報告 (直前四半期比)

(単位：億円)

	'23/3期 第1四半期 実績	'22/3期 第4四半期 実績	増減額	増減率
売上高	1,251	1,139	+112	+9.8%
営業利益	225	152	+73	+47.4%
(対売上比率)	(18.0%)	(13.4%)	-	-
経常利益	352	207	+145	+70.0%
(対売上比率)	(28.2%)	(18.2%)	-	-
純利益	261	184	+77	+41.8%
(対売上比率)	(20.9%)	(16.2%)	-	-
EBITDA	341	278	+63	+22.4%
(対売上比率)	(27.3%)	(24.5%)	-	-

期中平均レート(¥/US\$) (129.04円) (117.10円)

期末レート(¥/US\$) (136.68円) (122.39円)

(単位：億円)

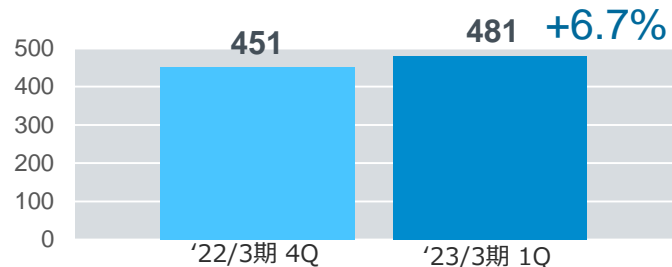
四半期売上高

1,139億円 **+9.8%**
1,251億円

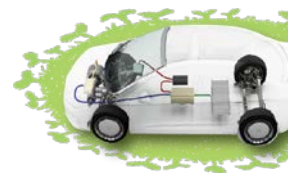
'22/3期 第4四半期
実績

'23/3期 第1四半期
実績

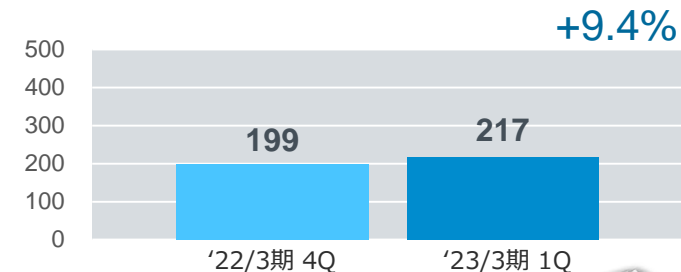
自動車



- インフォテインメント分野 +10
- ボディ分野 ▲0
- パワートレイン分野 +1
- 安全走行ADAS分野 +3
- xEV分野 +12
- その他 +4



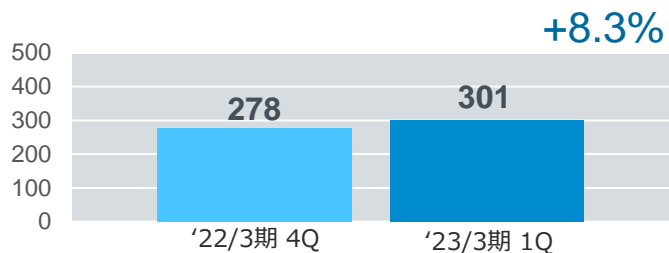
産機



- FA分野 +8
- エネルギー分野 +7
- ホームビルディング分野 ▲1
- その他 +5



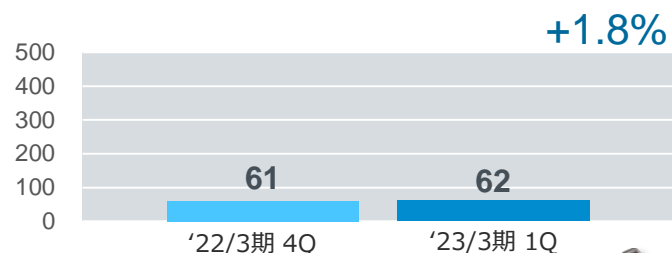
民生



- AV関連 +7
- 家電分野 +15
- その他 +1



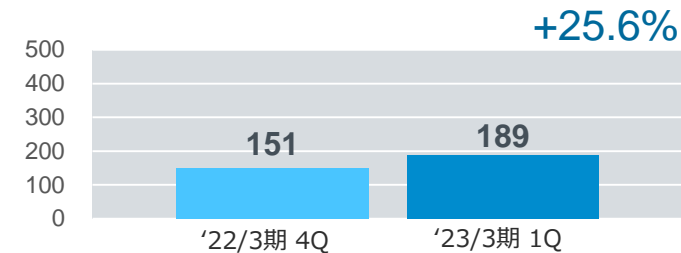
通信



- スマホ&モバイル分野 +1
- 基地局&インフラ分野 ▲1
- 有線通信分野 +1



コンピュータ & ストレージ



- PC&サーバー分野 +28
- 決裁端末向け +7
- 事務機分野 +4



※業種分類：現在の状態で集計

2023年3月期 第1四半期 国籍別 売上の変動要因 (直前四半期比)

四半期売上高

1,139億円

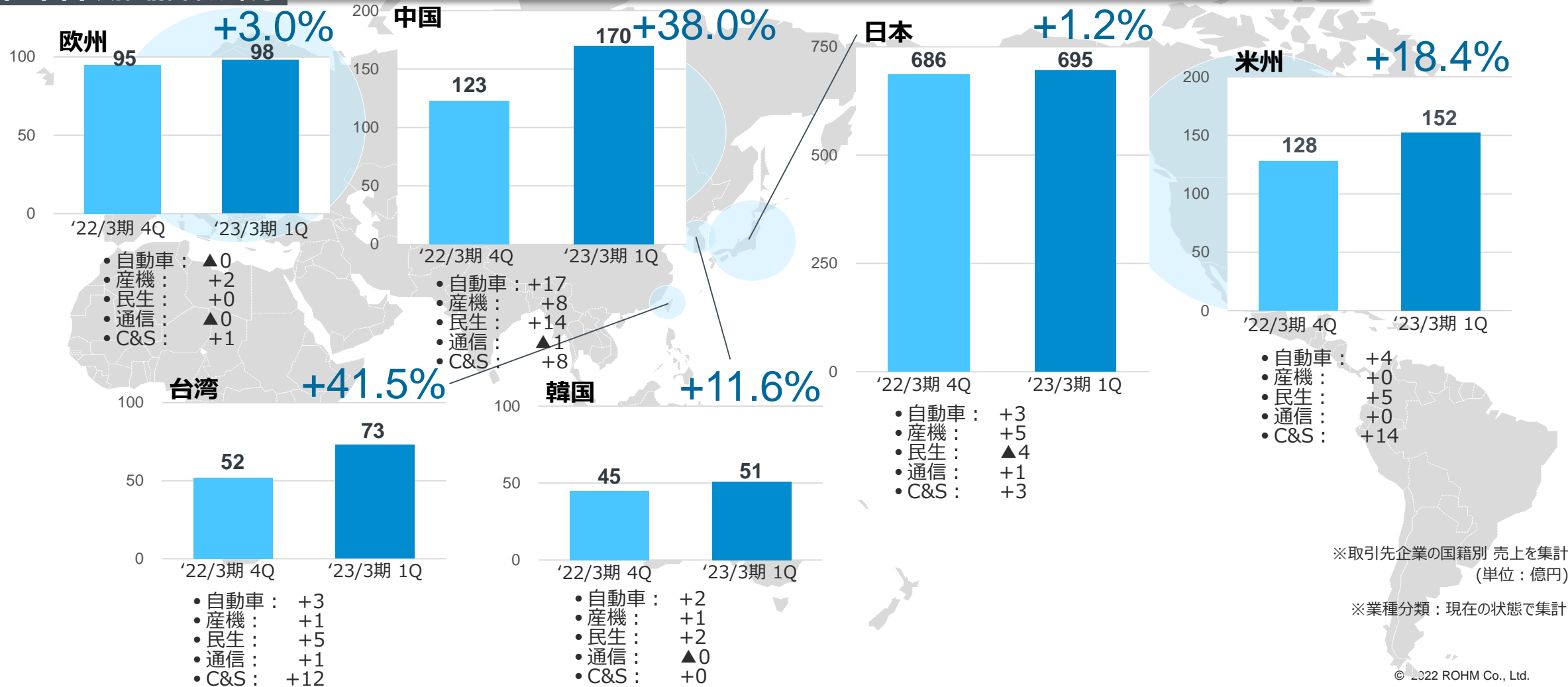
1,251億円

'22/3期第4四半期実績

'23/3期第1四半期実績

+9.8%

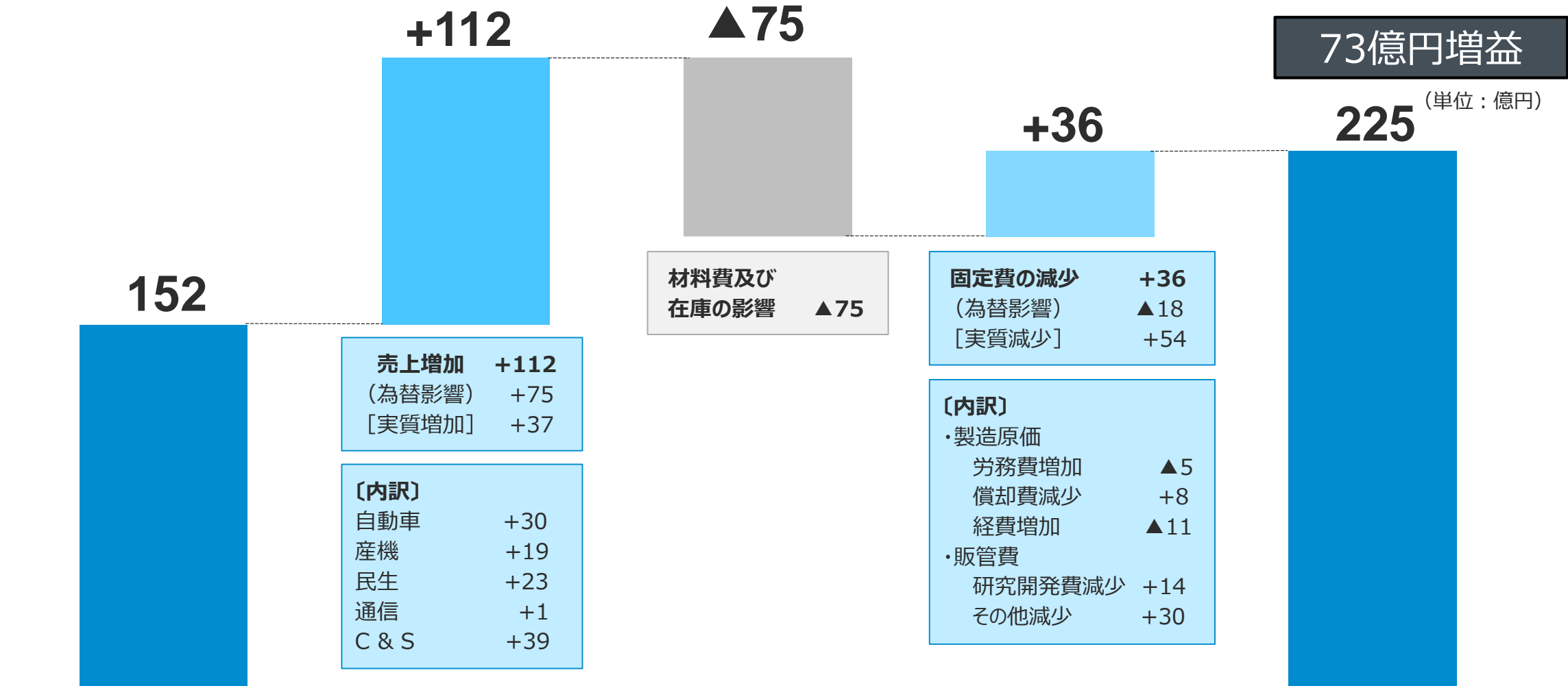
第1四半期 直前四半期年比



※取引先企業の国籍別 売上を集計 (単位: 億円)

※業種分類: 現在の状態で集計

2023年3月期 第1四半期 営業利益 増減分析 (直前四半期比)



'22/3期 第4四半期 実績

'23/3期 第1四半期実績

期中平均レート (¥/US\$) **(117.10円)**

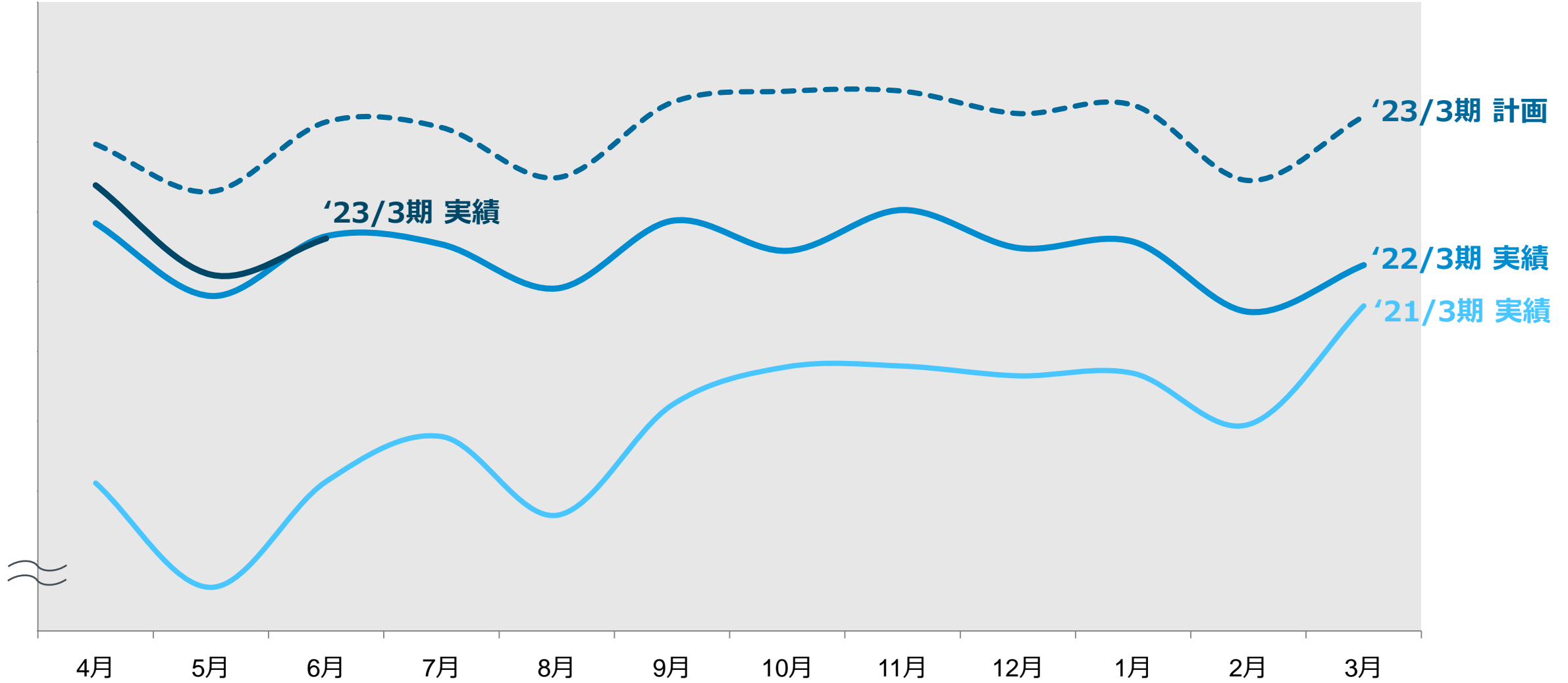
(129.04円)

2023年3月期 第1四半期 セグメント別 (直前四半期比)

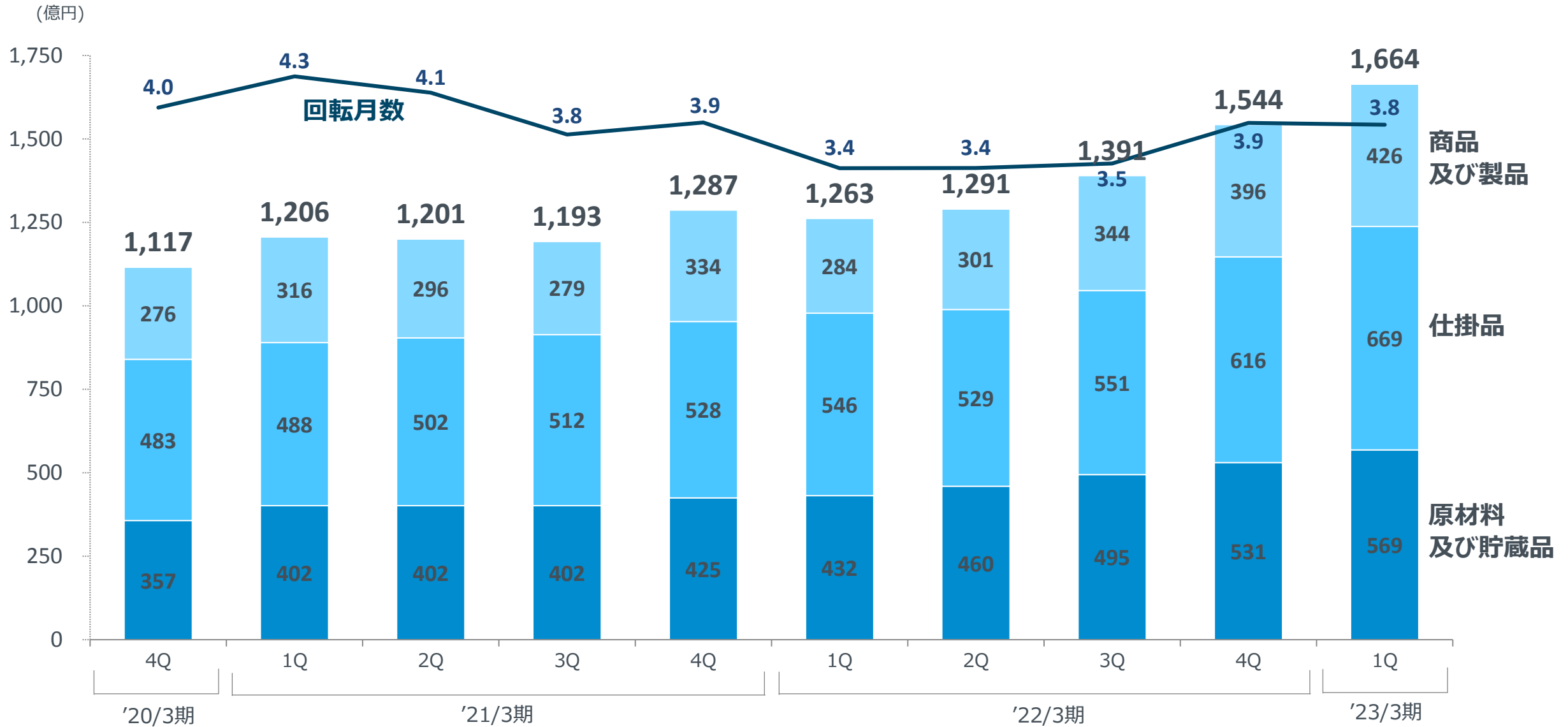
(単位：億円)

		'23/3期 第1四半期 実績	'22/3期 第4四半期 実績	増減額	増減率
LSI	売上	547	507	+40	+7.8%
	セグメント利益	106	79	+27	+33.5%
	(利益率)	(19.4%)	(15.7%)	-	-
半導体素子	売上	536	478	+58	+12.2%
	セグメント利益	89	80	+9	+10.3%
	(利益率)	(16.7%)	(16.9%)	-	-
モジュール	売上	89	87	+2	+3.2%
	セグメント利益	14	10	+4	+37.3%
	(利益率)	(15.8%)	(11.8%)	-	-
その他	売上	77	66	+11	+16.5%
	セグメント利益	13	11	+2	+22.0%
	(利益率)	(17.7%)	(16.9%)	-	-

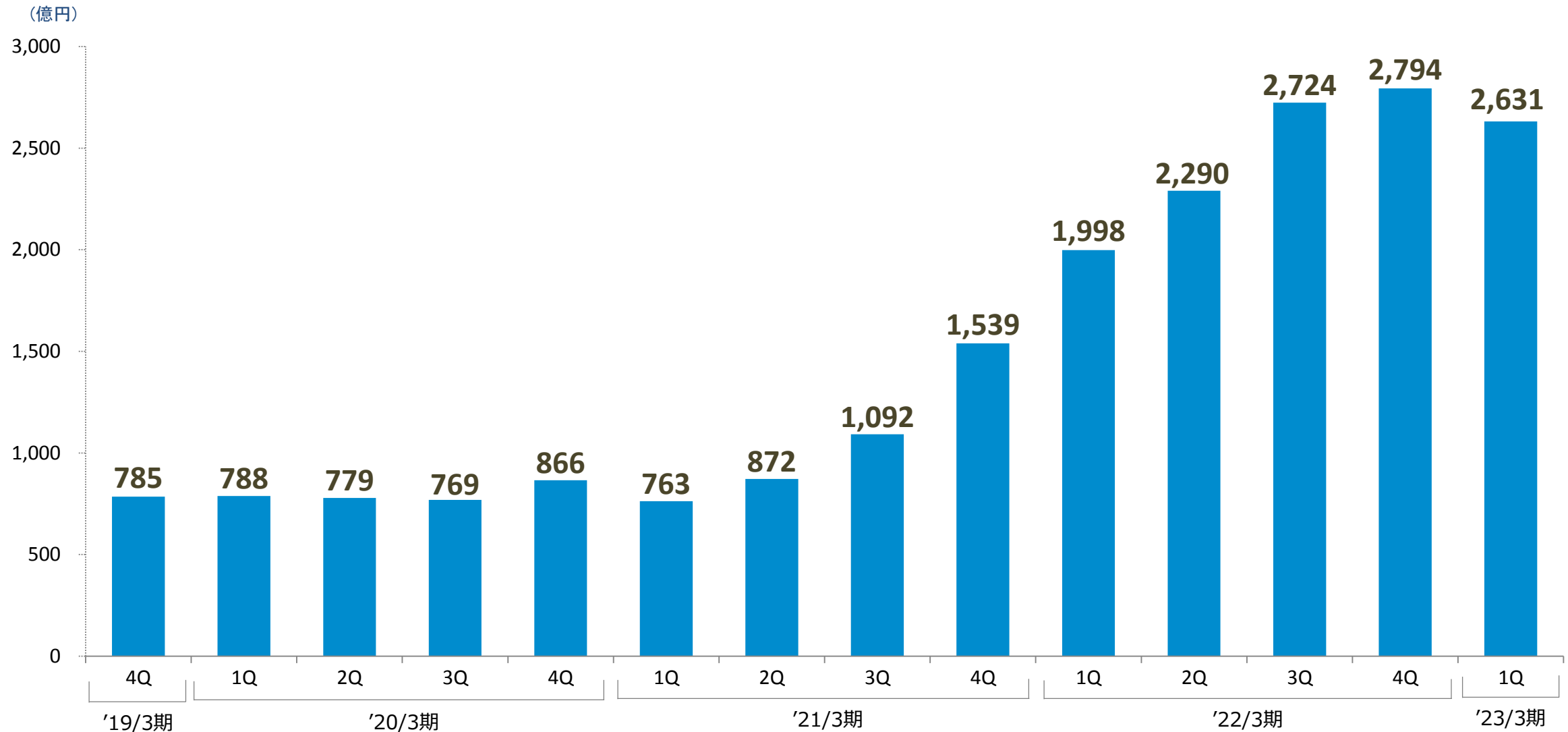
※為替影響を除く



在庫の状況 (金額)



受注残高の推移



※為替影響を除く

【ご参考】 2022年5月10日公表計画値

(単位：億円)

	'23/3期 計画	'22/3期 実績	増減額	増減率
売上高	5,100	4,521	+579	+12.8%
営業利益	760	714	+46	+6.3%
(対売上比率)	(14.9%)	(15.8%)	-	-
経常利益	740	825	▲85	▲10.4%
(対売上比率)	(14.5%)	(18.3%)	-	-
純利益	600	668	▲68	▲10.2%
(対売上比率)	(11.8%)	(14.7%)	-	-
EBITDA	1,395	1,135	+260	+22.9%
(対売上比率)	(27.4%)	(25.1%)	-	-

期中平均レート(¥/US\$) (115.57円) (112.86円)

期末レート(¥/US\$) (115.00円) (122.39円)

(単位：億円)

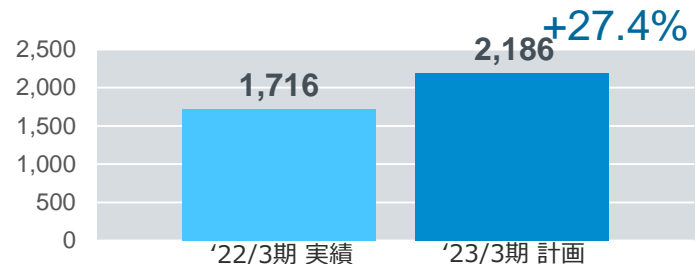
通期売上高

4,521億円 +12.8%
5,100億円

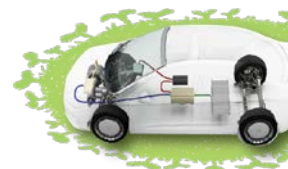
'22/3期 通期
実績

'23/3期 通期
計画

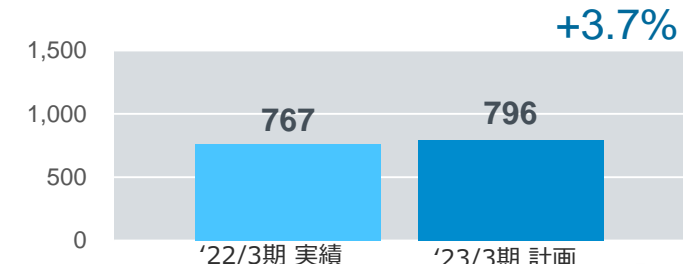
自動車



- インフォテインメント分野 +115
- ボディ分野 +72
- パワートレイン分野 +40
- 安全走行ADAS分野 +36
- xEV分野 +175
- その他 +33



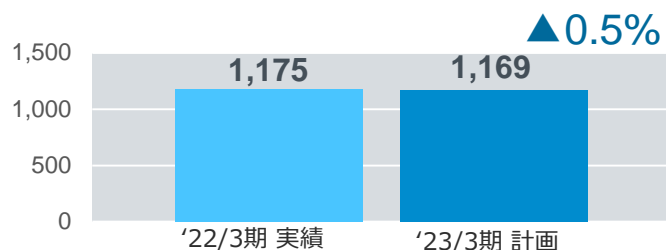
産機



- FA分野 +5
- エネルギー分野 +32
- ホームビルディング分野 ▲2
- その他 ▲6



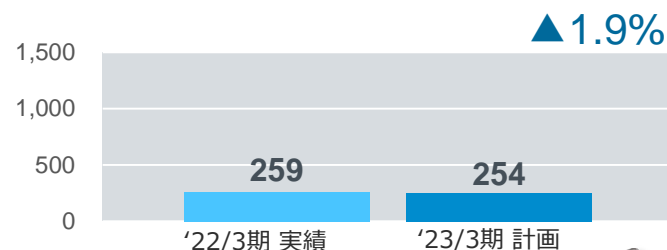
民生



- AV関連 +1
- 家電分野 +13
- その他 ▲20



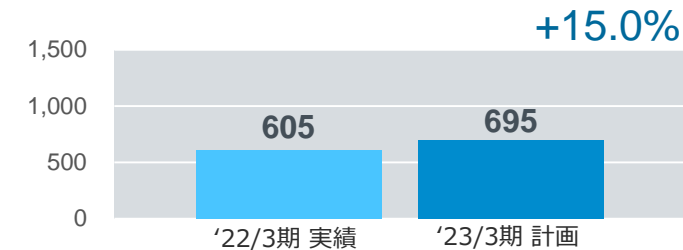
通信



- スマホ&モバイル分野 ▲9
- 基地局&インフラ分野 +3
- 有線通信分野 +2



コンピュータ & ストレージ

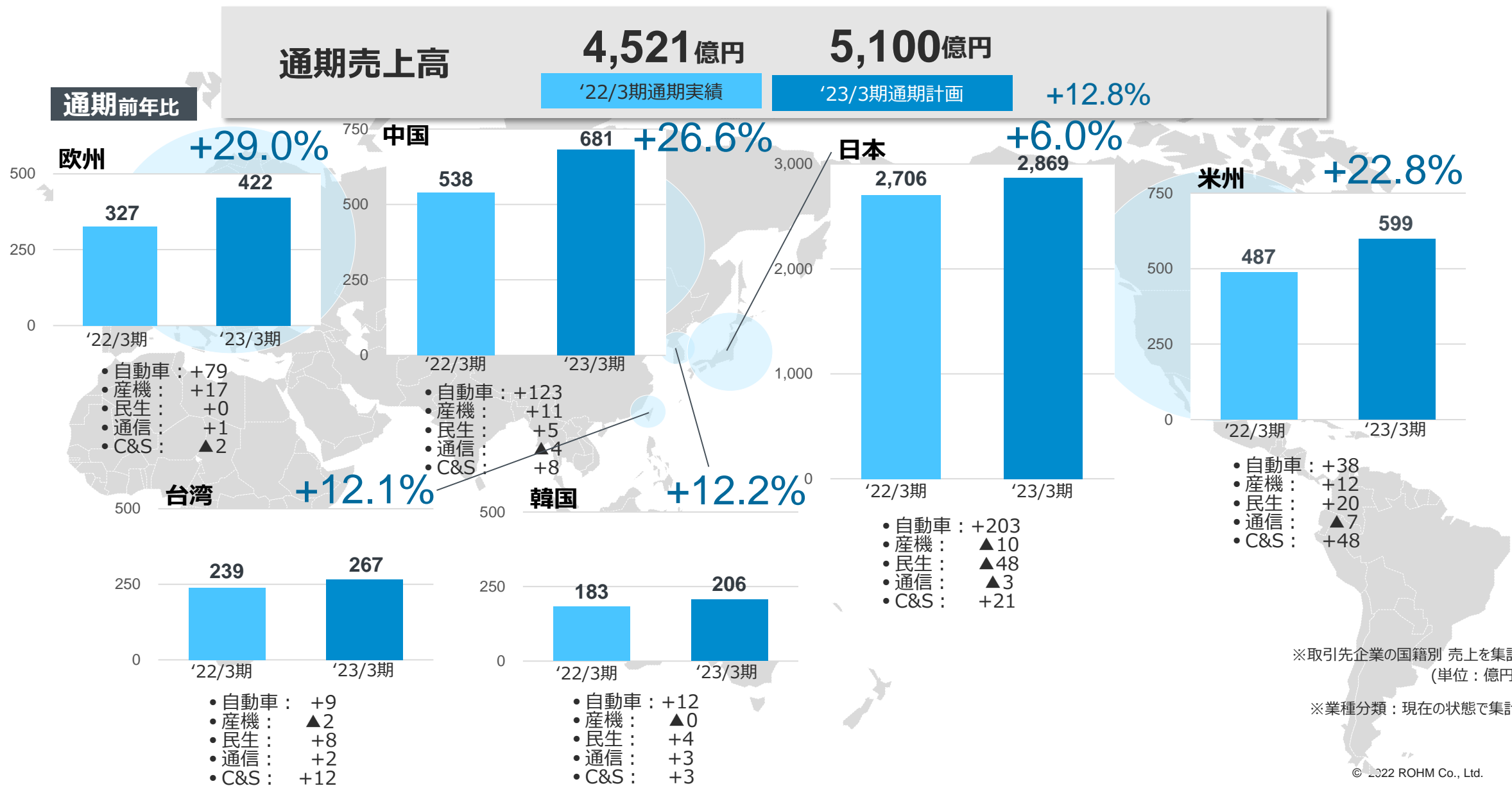


- PC&サーバー分野 +71
- 決裁端末向け +5
- 事務機分野 +14



※業種分類：現在の状態で集計

【ご参考】2023年3月期 通期 国籍別 売上の変動要因 ('22/3期実績 vs '23/3期計画)



Question	Answer
1Qにおける能力増強の結果は？	22/3期末から、23/3期末までに、10%の能力増強を計画しており、概ね順調に進んでおります。
顧客在庫、流通在庫をどう見ているか？	直販がメインの為、流通在庫に関しては大きな影響はありません。 顧客在庫については、ロームからの供給がひっ迫している中、過剰に積み増されている状況ではないと認識しております。
今後の需要の見通しは？	一部の民生で調整の兆しが見られますが、ロームが注力している自動車・産機分野においては、電装化や電動化の促進により中長期的に成長していけると見込んでおります。
上海ロックダウンの影響は？	ロームの生産においては、影響は出ておりません。 ただし、当1Qにおいては顧客でのサプライチェーンの乱れが間接的にロームの需要にマイナス影響を及ぼしています。
為替感応度は？	ドルに対して円安に動くと、業績にはプラスに働きます。 1円動くと、年間ベースで売上高25億円、営業利益7億円変動します。

- [2022-05-20 機能安全規格「ISO 26262」準拠、次世代自動車のカメラモジュール向けPMICを開発](#)
- [2022-06-07 ナルベルの極小コンデンサ容量でも安定動作する 新回路搭載、車載LDOLレギュレータ「BD9xxN1シリーズ」を開発](#)
- [2022-06-16 低損失性能かつ超低ノイズ特性を実現した 第4世代ファストリカバリダイオード「RFL/RF5シリーズ」を開発](#)
- [2022-06-23 高精度・超低消費の40V対応ウィンドウ・リセットIC「BD48HW0G-C」を開発](#)
- [2022-07-12 次世代コックピット向けSoCメーカーの中国最大手、Nanjing SemiDrive Technology Ltd.とロームが車載向けソリューション開発のパートナーシップを締結](#)
- [2022-07-15 セмикロンとローム、SiCパワーデバイスの新たな協業をスタート](#)

- 法定開示や適時開示、その他PR情報等、ロームの最新のリリースを開示後適時にメールでお届けできるように、メール配信サービスを導入することになりましたので、**ご登録いただくようお願いいたします。**

ROHMのホームページ（投資家情報）から簡単にお申込みいただけます！

[IRメール配信登録](#) | [投資家情報](#) | [ローム 半導体 ROHM](#)

The screenshot shows the 'Investor Information' page for ROHM. At the top, there is a navigation bar with '投資家情報' (Investor Information) and '株主・投資家の皆様へ' (To Shareholders and Investors). A 'サイトマップ' (Site Map) icon and '証券コード：6963' (Security Code: 6963) are also visible. Below the navigation bar, there are tabs for '業績の概要' (Summary of Performance), 'IRライブラリ' (IR Library), '株式情報' (Share Information), 'IRカレンダー' (IR Calendar), and '株主総会' (Shareholders Meeting). The main content area is titled 'IRメール配信サービス' (IR Email Distribution Service) and includes a breadcrumb trail: 'Home > 投資家情報 > IRメール配信サービス'. The text explains that the service is for providing information to investors via email and directs them to a registration page. It also includes a disclaimer: '当社は株式会社マジカルポケットが提供するサービスにつき一切の責任を負いません。' (We do not assume any responsibility for the services provided by Magical Pocket Co., Ltd.). At the bottom, there are two buttons: 'メール配信の新規登録' (New Registration for Email Distribution) and 'メール配信の登録解除' (Unregistration for Email Distribution). On the right side, there are several quick links: '個人投資家の皆様へ' (To Individual Investors), 'ESG関連情報' (ESG Related Information), '株価情報' (Share Price Information), and 'IRメール配信サービス' (IR Email Distribution Service).

<ご注意事項>

1. 当資料は投資分析を目的として作成しておりますので、投資分析にのみご使用ください。
2. 2023年3月期の予想は、現時点で得られた情報にもとづいております。従って、業況の変化などにより記載の予想と大きく異なる場合があります。

<お問い合わせ先>

ローム株式会社 IR室
〒615-8585 京都市右京区西院溝崎町21
E-mail : ir@rohm.co.jp



Electronics for the Future